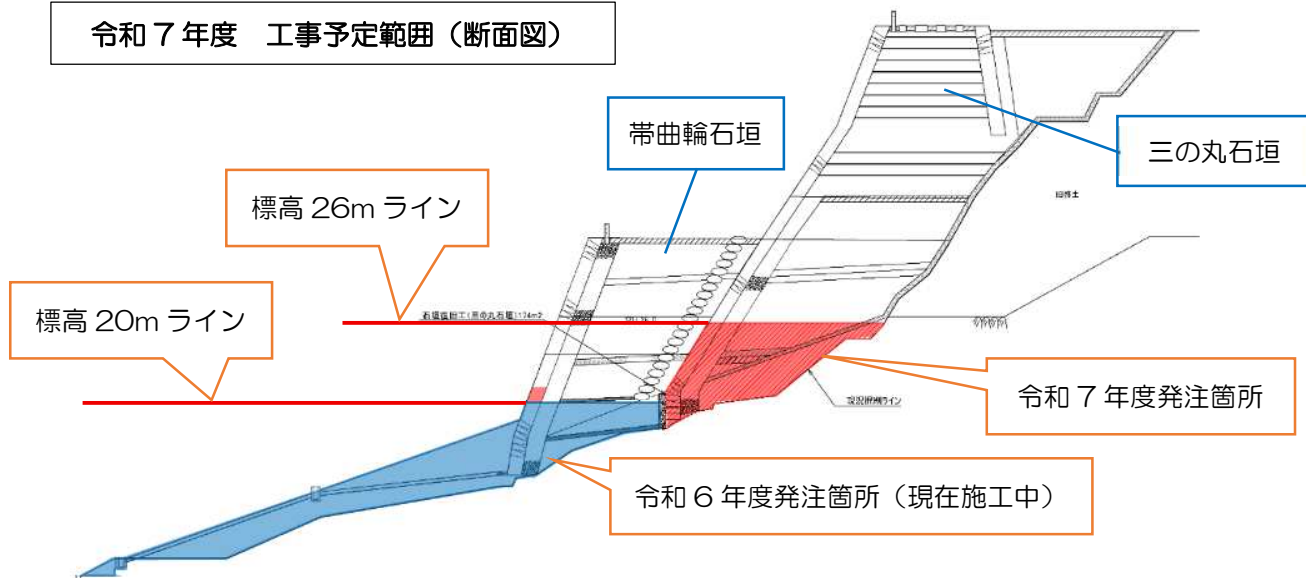


丸亀城管理室だより No.23

令和7年度の予定

令和7年度 工事予定範囲（断面図）



【石垣積み上げ工事】

- 令和6年8月から帯曲輪石垣の積み上げ工事に着手しています。
- 令和7年度は、新たに三の丸石垣の積み上げ工事に着手し、標高26mまで積上げる予定です。
- 帯曲輪石垣の積み上げには、事前に地山の復元を行っています。
セメントを混ぜた改良土を平らになるように敷きならし、機械で地面を締め固めて強度を高めることで、石垣の重さに耐えられるような強い地盤を作ります。



【転用石材・新石材製作】

- 石材が損傷するなどして元の位置に戻せない石材は、加工を施し、「転用石材」として他の場所に戻します。令和7年度は、この「転用石材」を約300石製作する予定です。
- 損傷が激しく、転用石材としても使えない石材は、備讃瀬戸や瀬戸内海の島々から「新石材」を調達し、元の石材の形に加工して元の位置に積み上げます。令和7年度は、「新石材」を約270石製作する予定です。



石垣復旧整備事業の全体工期と全体事業費を見直しました

平成30年の崩落以降、丸亀城石垣の復旧整備を進めておりますが、現代工法の導入や新石材の石材数増加などに伴い、工期および事業費の見直しを6月に行いました。（裏面に続く）

○今回の見直し内容

	見直し前	見直し後
全体工期	令和元年度～令和9年度	令和元年度～令和12年度（令和13年3月末）
全体事業費	52.5億円	86億円（33.5億円増額）

【主な工期延伸の理由】

- ① 高さ 31 メートルの高石垣を積み上げる工事は前例がなく、また、記録の無い地中部石垣の復旧には相当な時間を要するため。
- ② 崩落の影響で当初の想定より多くの石材が破損しており、新しく製作する「新石材」の個数が増加し、その製作に時間がかかるため。

【主な事業費増額の理由】

- ① 必要な現代工法の採用にかかる事業費を反映させたため。
- ② 石材の製作数が増えるとともに、人件費や物価の高騰により 1 石あたりの製作費が増えたため。
- ③ 工期延伸に伴って、人件費やクレーンの賃料などが増えたため。

【見直し後の全体工程表】



今後も引き続き「あの美しい石垣をもう一度」のスローガンのもと、歴史的価値を後世へ伝えるため全力で取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

丸亀お城まつりで「石曳き体験」を行いました

5 月 3・4 日に、第 76 回丸亀お城まつりが開催されました。石垣復旧現場では、大型重機が使えない時代の知恵を体験できる「石曳き」イベントを初めて開催しました。

まず、参加した方には、5.5 トンの石材を乗せた『修羅（しゅら）』という大きなそりを綱引きのように引っ張って巨石を運ぶ体験をしていただきました。次に、『神楽棧（かぐらさん）』という回転する軸木で縄を巻き取る構造の道具を使い、石材を元の位置に戻す作業を行っていただきました。綱引きの時には 20 人がかりで動かした巨石を、神楽棧を使うと 8 人で力を入れることなく簡単に動かすことができたので、参加した方からは驚きの声が聞かれました。

この他に、石垣復旧現場の見学会や重機乗車体験なども行い、いずれも多くの方にご参加いただけました。



3 日には、丸亀市のゆるキャラ「とり奉行骨付じゅうじゅう」も石曳きに参加してくれました。



作 成：丸亀市教育委員会 文化財保存活用課
丸亀城管理室 TEL0877-23-2107